



夏をイメージしてデイケア・病棟の患者さんたちが制作した作品です。

平成22年3月23日から植木町は熊本市と合併し、
向陽台病院も住所が変更になりました

CONTENTS

- 財団法人 日本医療機能評価機構 Ver.6.0認定
- 熊本市と合併し、新生「熊本市」がスタート
- 共同生活援助事業 共同住居「陽だまり」
- デイケア紹介「デイナイトケア」
- 新病棟のご紹介「北3病棟」

向陽台病院の理念

心を病む人の立場に立った専門的精神科治療の提供を行う

地域への精神科医療の啓発活動を通じて心を病む人のみならず、地域住民の心の健康増進に貢献する

- 地域の様々な資源との連携の強化を目指します—医療・福祉・教育・産業・地域社会と積極的な連携が出来るように—
- 良質で安全な医療の提供を目指します—相手の立場に立ち、私達が安心して自分の家族を任せられるように—
- 専門性を高め、より高度な知識・技術の向上を目指します。—新しい技術・知識の習得、研鑽を心がけるように—

財団法人 日本医療機能評価機構Ver.6.0認定

副院長 田中 隆彦

2 当院では、医療機能の質の向上、地域における医療の信頼性を高める、他者評価を通じ各部署の業務の見直しを図ることなどを目的とし、2005年1月に（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（ver.4.0）の審査を受け、認定されました。この時はまったく初めての作業の連続で、全職員が大変な時間とエネルギーを費やしました。そのため、認定発表の瞬間には大きな拍手と歓声が一斉に沸き起こり、歓喜の涙を流す職員もいました。全職員の多大な努力で得たこの認定も有効期限が5年間のため、継続して認定を受けるためには、新しい審査基準（Ver.6.0）での書面審査と実地審査を通過する必要があります。審査される主な項目は次のとおりです。

- 1) 病院組織の運営・地域における役割
- 2) 患者の権利と医療の質・安全の確保
- 3) 療養環境と患者サービス
- 4) 医療提供の組織と運営
- 5) 医療の質と安全のためのケアプロセス
- 6) 病院運営管理の合理性
- 7) 精神科に特有な病院機能
- 8) 療養病床に特有な病院機能

これらの項目について病院から提出された回答が書面で審査された後、病院での実地審査を受け、判定されます。この書面審査と実地審査の認定を目指し、2009年4月に院内で各部の主任以上で対策委員会を立ち上げ、定例会議を毎週開催し、互いの部署の業務進行具合を確認し、地道に準備をした結果、実地審



査（2009年9月29日から10月1日まで）も概ね好評のうちに終え、2010年3月23日、無事に認定の通知が来ました（有効期限は2010年1月24日から2015年1月23日まで）。精神科病院で日本医療機能評価機構認定病院はまだ少数派ですが、患者さんやご家族に信頼される一つの目安として考えていただければ幸いに思います。

今回の認定は外部機関による中立な立場からの学術的・臨床的・総合的な病院評価ですが、本当に大切な評価は当院をご利用くださる患者さん、ご家族から得られる評価であると思っています。ご縁があり、当院をご利用いただいた全ての患者さん、ご家族に「この病院に来て良かった」と心から喜んでいただけるように、これからも職員一同で日々努力を重ねていきたいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻をよろしく願いたします。



認定を記念して

熊本市と合併し、 新生「熊本市」がスタート

市町村の行財政基盤の強化を図るため「平成の大合併」が推進され、県内においても多くの市町村が合併しました。そして、植木町も平成22年3月23日付で、城南町と一緒に熊本市に合併しました。55年間の町の歴史に幕を下ろし、熊本市として新たな歴史を刻んでいくことを大きく期待します。さらに、平成24年4月の政令指定都市実現に向けて、医療・福祉を含めた行財政の新たなプロジェクトも動き出しています。これから当院も地域の皆さんとともに熊本市の一員として歩んでいきたいと思ひます。

(事務部 部長 左座 道也)

熊本市との合併に基づく制度

熊本市との合併に伴い、従来から熊本市で実施されていた制度が、植木町・城南町在住の方にも適用されることとなりました。精神保健福祉手帳をお持ちの方は以下の制度をご利用できます。他の障害者手帳をお持ちの方も対象となっていますので、詳細については熊本市役所にお尋ねください。

名称	内容	対象者	申請時に必要なもの
さくらカード	①熊本市内を運行するバス・市電などの運賃引き* ②公立施設(熊本城や動植物園など)の入園料無料 ※1 別途「おでかけ乗車券」または「おでかけバス券」の購入が必要です。	精神保健福祉手帳1～3級をお持ちで、市内に住居登録のある方	●証明写真 (縦4cm×横3cm) ●精神障害者 保健福祉手帳 ●印鑑 ●手数料300円
福祉タクシー利用券	タクシー乗車1回につき1枚(360円分)利用できる券を交付	精神保健福祉手帳1～2級をお持ちで、市内に住居登録があり、本人が非課税の方	●精神障害者 保健福祉手帳 ●印鑑

【問い合わせ・申請窓口】 熊本市役所障がい保健福祉課 中央・東・西・南・北保健福祉センター
北部・河内・飽田・天明・富合・植木・城南総合支所

(リハビリテーション部 精神保健福祉士 鶴崎 想吾)

新しい医師のご紹介!



診療部 こやま いっせい
小山 一静

はじめまして。今年の4月から向陽台病院で勤務させていただくこととなった小山一静と申します。熊本大学医学部附属病院、熊本医療センター、熊本県立こころの医療センターで研修を積んできました。まだまだ経験不足ですが、これまでの経験を活かして、より地域に密着した医療に貢献したいと思ひます。そのためにはまず自分も健康であらうと思ひます。ダイエットにも挑戦し体重を減らします。また仕事は仕事、余暇は余暇とメリハリをつけて1年間楽しくやっていきたいと思ひますので、みなさんよろしくお願ひします。



診療部 うしじま ひろかげ
牛島 洋景

4月から、火曜日・木曜日の週2回お世話になっている牛島といひます。熊本大学医学部附属病院で2年、宮崎県立宮崎病院で1年、熊本県立こころの医療センターで7年弱仕事をした後、平成20年から2年間千葉県市川市にある国立国際医療センター国府台病院の児童精神科で、子どもの精神科の勉強をして、この4月に熊本に戻って来ました。帰熊後も少しでも児童の仕事に携わりたいと思ひ、院長先生に無理言ってお仕事させてもらっています。まだまだ勉強中であり至らないところもあると思ひますが、少しでもお役に立てるようにがんばりますので、よろしくお願ひします。



シリーズ②

共同生活援助事業

共同住居「陽だまり」

平成13年11月から開所している共同住居「陽だまり」は、前回ご紹介したグループホームのように住宅街にあるのではなく、向陽台病院に隣接した場所にあります。病院を退院してすぐに自宅やアパートなどでの生活を始める前に、もう少し生活のための練習を共同で行い、次の段階へステップアップをしていくといった生活訓練の場所となっています。

居室は個室が8室と2人部屋が3室あり、月曜日から金曜日の日中はデイナイトケアに参加して、土日はそれぞれでゆっくりと過ごしておられます。共同生活上で起こる問題に関しては、毎週水曜日の午後にミーティング（住まいるミーティング）を



を行い、より良く生活が送れるように話し合いをしています。

入居期間は1年以内となっております。その限られた期間の中で個人の課題に対して必要な生活訓練（例えば、洗濯や掃除、買い物を含めた金銭管理など）を世話人と共に行っています。病院に隣接していることもあり、医療的な相談がすぐに行えます。安心して生活が送れる材料となっています。

今まで陽だまりを利用された方は約90名で、その半数以上の方が

自宅やアパート、グループホームに退居されました。また、調子を崩して再入院された方のなかには、再度「陽だまり」を利用し、アパートやグループホームに退居して、定期的に通院して来られている方もいます。

現在も、数名の方が入居されています。うまく自分の病気や障がいと付き合い、生活のレベルを上げながら、自分が望む自立した生活のために日々がんばっておられます。

（社会福祉事業 居宅就労支援業
所長 阪本 匡聡）



スポーツ交流「城北大会」

4月21日、いつになく肌寒い春空のもと、年に一度行われる城北大会が開催されました。これは、山鹿回生病院、菊池有働病院、当院の3病院で行われる親善レクリエーション大会です。今年は菊池有働病院でグランドゴルフが予定されていましたが、雨が降ったため、体育館での室内競技に変更となりました。競技はカローリング（床で行えるカローリングのようなもの）、モグラ叩き（光ったボタンを押す、反射神経を競うもの）、ポケットゴルフ（パターゴルフの要領的を狙うもの）の3つを行いました。当院からは見学を含め病棟12名、デイケア17名が参加しました。競技は個人戦で午前・午後と2回行い、各種目の合計点を競いました。最初は緊張してうまくできない方もいましたが、段々とコツをつかみはじめ、こぼった顔からも笑顔が見られはじめました。午前の部が終わり、昼食時間になると、用意された色鮮やかな弁当を食べながら、

午後の部に向けてコツなどを互いに教えあっていました。また、途中経過の報告もあり、当院は上位にいる方が多く、優勝できるのではと活気づきました。午後からは、自分の点数を意識しながらも互いに声援を送り、「すごい!」「おいしい!」などの驚きや興奮の音が聞かれました。当院はここ何年とさまざまな競技で優勝がなく、悔しい思いをすることが多かったのですが、今回はなんと、1位、2位を独占することができ、みんなで喜びあいました。今回、他病院の方との直接的な交流はあまり見られませんが、同じグループで回るなど、競技（スポーツ）をとおし、「楽しむ」ということで、自然と交流がもてたのではないかと思います。

（リハビリテーション部 作業療法士 宮崎 裕一）



デイケア紹介

当院の外来治療の一つにデイケアがあり、このコーナーでは、デイケア活動の様子などをご紹介します。

シリーズ② ●テーマ:デイナイトケア

当院のデイナイトケアは平成13年に開始となり、最初は数名だった参加者も最近では25～30名の方が利用されています。

デイケアとデイナイトケアの大きな違いは時間の長さです。デイナイトケアは朝8時から夕方6時まで行い、朝・昼・夕の食事を提供しています。共同住居、グループホームに入居中の方やアパートで単身生活をしている方にとって、バランスの良い食事は治療の一環として大切な参加目的になります。また、就職を目標としている方が仕事を想定して利用されたりもします。活動時間以外の過ごし方を自分なりに計画することは体力や集中力を必要とするからです。



スポーツ活動での卓球

デイケアやデイナイトケアに参加される始める前にはデイケアスタッフとの面接をもうけています。その面接で、どのくらいの期間利用したいと思っているか、それまでにどうなりたいかなど、目標を決めます。その目標に合わせて、デイケアにするかデイナイトケアにするか、参加の形を決めます。中には、両方を組み合わせて参加する方もおられます。

(リハビリテーション部 デイケア
精神保健福祉士 春木 あゆ美)



「寂心さん」への散歩

デイナイトケアのスケジュール

8:00 朝食	食後は新聞を読んだり、音楽を聴いたりする余暇時間です。
9:30 健康チェック	この時間からデイケア参加者と一緒に活動します。
9:50 朝の集い	当日のスケジュールや連絡事項を確認します。
10:30 午前の活動	月間のスケジュールに沿ってプログラムを行います(創作やスポーツなど)。
12:00 昼食	
13:30 午後の活動	月間のスケジュールに沿ってプログラムを行います(創作やスポーツなど)。
15:15 感想会	どのように過ごしたか、活動などの感想をお聞きます。
16:00 デイナイトケア活動	軽いスポーツやゲームなどデイナイトケア参加者だけで活動します。
17:30 夕食	
18:00 終了	

ミニバレーボール大会に参加して

今年も日精看(日本精神科看護技術協会熊本県支部)の親睦ミニバレー大会が5月15日に開催され、県下19施設から38チームの参加がありました。私は初めての参加で、小さなレクリエーションと思っておりましたので、実際の会場を目の当たりにして、その熱気と人の多さに驚いてしまい、試合前からなぜか緊張してしまいました。開会式とウォーミングアップを済ませ、いよいよ試合開始。向陽台病院は3チームエントリーしましたが、その中の主力



チームはなんと2連覇中の強豪。しかし、他のチームもまとまりがあって、とにかく上手い。さすがに世の中は甘くなく、ぶっつけ本番で挑んだ私たちは、調子をつかむ前に残

念ながら敗退。白熱したり、和気あいあいだったり楽しみながらの試合も、少しの悔しさと少しの筋肉痛を残し、予選で終わってしまいました。それでも、いい汗をかくことができ、久しぶりの楽しい緊張感を味わえ、また、親睦はもたらされて良かったと思います。予選と決勝の間には、誰でも参加できるジャンケン大会があり、私は一度も勝てませんでしたが、ほとんどの参加者が商品を貰えるくらい数も豊富で、みんな楽しそうでした。来年は、これまでとは少し違った形の大会になるかもしれないとのことでしたが、また参加できればと思っています。関係者の皆さま、ありがとうございました。

(事務部 江野 雄介)

新病棟のご紹介

北3病棟

北3病棟は、旧病棟の3階にある精神科一般病棟に分類される60床の病棟です。ここに入院しておられる患者さんは、身体合併症を持っていて、認知症を含めた精神疾患を抱えている方です。多くは入院が必要な高齢の患者さんや、当院での入院が長期になっている患者さんです。そのなかには、口から食べ物を食べるのではなく、経管栄養と呼ばれる管を使って直接胃に栄養を流し込



む必要のある患者さんが10数名いらっしゃいます。また、身体機能の低下や感染症などにより、ベッドの上での生活が長くなっている方々もいます。これらの患者さんは十分な栄養の供給や摂取ができずに、いわゆる「床ずれ」と呼ばれる褥瘡ができることがあります。それは時として生命の危険を生じる合併症に至る可能性を秘めています。同様に、栄養が十分に摂れないことは身体機能の回復を遅らせ、生活の質を落とすことにつながっていきます。

これらの栄養に関する問題点への対策として、当院では2009年6月からNST(nutrition support team:栄養サポートチーム)を立ち上げて、経管栄養や褥瘡がある患者さんを中心に栄養状態の管理をします。メンバーは、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師の多職種にわ



たって構成され、週に1度メンバーが集まりカンファレンスと回診を行っています。内容としては、採血結果や食事摂取の状況から、食事の量や形態、経管栄養の量・内容・回数、補助栄養食品の検討をしています。これらの検討内容を主治医や病棟へ伝え、患者さんの栄養状態の改善へ関与しています。

上記のNSTを含めて、北3病棟は精神疾患への対応のみならず、精神科単科病院でできる範囲の身体管理に対応できるように努力していきます。

(診療部 佐藤 秀史)

認知症家族教室

わが国では高齢化が進み、医療や介護の分野ではさまざまな取り組みが行われ、制度なども少しずつ変化しております。当院でも近年、高齢の患者さんの受診や入院が増加する傾向にあります。そのような状況のなか、認知症家族教室を年4回、それぞれ1時間30分のプログラムとして開催しております。担当者も医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士という多職種で構成し、それぞれの立場で参加しています。

5月22日に今年度第1回目を実施し、5家族の参加がありました。看護師の立場から『認知症の症状をどのように考えるか』『家族が抱きやすい心理』『コミュニケーションのとり方』など、認知症の方に対す

る基本的な対応方法についてお話しさせていただきました。

現在、患者さんが入院中の方、自宅で介護されている方、家族関係の中での立場の違いや、症状の違いによって、受け止め方など少しずつ差異はありますが、それぞれのご家族が患者さんをお世話されて感じてこられた思い、気づき、辛さ、苦労話、提案などが出されました。担当者として、あらためてご家族の気持ちを知る機会となり、患者さんだけでなくご家族への接し方についても心新たにすることができました。

認知症の方によりよい看護・介護を提供するためには、提供する側が気持ちにゆとりを持ち対応して行く必要があります。一人で、あるいはご家族だけで悩んだりせおいこんだり



せず、周囲の手助けを求める、認知症に関する知識や制度を利用する、感じた気持ちを話す、リフレッシュの機会を設けることなどが大事です。この家族教室がそのような方々に少しでもお手伝いできればと考えています。その都度お誘いいたしますので、都合のよい時はぜひご参加ください。お待ちしております。

(看護部 由野島 寿美子)

■次回のご案内

日時:8月28日(土) 10時~11時半

テーマ:認知症の症状と対応について②

~作業療法士の視点から~

こもれびプラザ

向陽台病院ではさまざまな情報を発信しています

栄養だより

本格的な夏がやって来ました。もともと蒸し暑くて過ごしにくい高温多湿の日本の夏。無防備に過ごすことはとても危険です。水分やビタミンを多く含む野菜を食べて猛暑をのりきりましょう。

夏野菜の効果

☆水分補給で脳梗塞を予防しよう!

汗で大量の水分が失われる夏は、血管が詰まりやすく、脳梗塞おこす危険性が高い季節です。水分を多く含む夏野菜を食べ、ほてった身体をクールダウンしましょう。

☆ビタミン補給で紫外線予防!

旬の野菜は、他の季節にくらべ2~3倍のビタミンがふくまれています。紫外線の強いこの季節。肌を守る働きをもつビタミンC、Eを積極的に補充しましょう。

代表的な夏野菜

トマト、カボチャ、キュウリ、オクラ、茄子、ゴーヤー、枝豆、ミョウガなど

(診療部 管理栄養士 宮本 愛)



動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの動向を掲載しています。

(単位:人)

集計月	外来延数	新患者数	1カ月ごとの入退院者数	
			入院	退院
2010年 3月	2845	57	42	48
2010年 4月	2679	66	37	29
2010年 5月	2642	58	42	38

そよ風

4月24日(土)に、そよ風家族会を開催しました。今年度最初の家族会ということで、内容は、総会と座談会でした。

13家族14名の参加があり、総会では、平成21年度活動報告・会計報告と、今年度の活動計画や役員選出が行われました。また、「向陽台そよ風家族会役員規約」の案が提案され、全員の賛成をもって議決されました。後半は、入院中の方と、外来・デイケア通院中の方との2つのグループに分かれ、日ごろ感じていること、患者さんに対する思いなどを、それぞれに語り合われました。ふだんはスタッフとゆっくり話せないようなことも、その場を借りて話せていたようでした。

今回、1家族の新しい会員が加わり、新しいスタートを切ることとなりました。患者さんを支えるご家族と、スタッフがさらに協力し合って、より良い環境を作っていけるよう、努力していきたいと思います。

(看護部 木船 尚子)

次回の予定: 7月24日(土)10時~

- テーマ: 精神科の薬について
- 講師: 金子 薫(薬剤師)

編集後記

まだまだ不安定な天気が続きますが、早く表紙のようなひま

わりが似合う青空になってほしいものです。さて、当院では4月1日から「精神科・心療内科」に加え、「児童精神科」を標榜しました。どうぞよろしくお願いたします。(須藤 晶子)

外来担当医一覧表 ※下記担当医は変更する場合もございます

	月	火	水	木	金	土
午前	橋本	牛島	村上 橋本	田中	横田	週替わり
	城野	松本	大石	城野	松本	
午後予約	小山(一)	牛島	大石	村上	特殊外来 横田	
	小山(裕)	鍋島 <small>第3週目は担当 が異なります。</small>	北 <small>第1週目は担当 が異なります。</small>		佐藤	

(2010年7月1日現在)

- 診療科目 精神科・心療内科・児童精神科
- 特殊外来 児童思春期(発達障害)外来
もの忘れ外来
- 病床数 220床
- 外来診療時間 ※祝日は平常どおり診療しています
月～金曜日 午前9時40分～12時00分
午後2時30分～5時00分
土曜日(再来のみ) 午前9時40分～12時00分

初めて診察を受けられる方は予約をお願いします

ご予約、お問い合わせ：096-272-5250

<平日：午前9時～午後4時30分まで/土曜日：午前9時～午前11時30分まで>

【患者の権利】

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。



産交バス

向坂バス停から
徒歩3分
投刀塚バス停から
徒歩3分

車

植木ICから10分

JR

植木駅下車
タクシーで6分

医療法人横田会 向陽台病院

〒861-0142 熊本県熊本市植木町鑑田 1025
(旧) 熊本県鹿本郡植木町鑑田 1025 → (新) 熊本県熊本市植木町鑑田 1025

TEL: 096-272-7211 · FAX: 096-273-2355

<http://www.koyodai.or.jp/>

日本精神神経学会専門医研修指定病院 日本精神科病院協会認定専門医研修病院
2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2010年にVer.6.0で再認定されています。

